民間企業の障害者雇用について

- ・民間企業の法定雇用率:2.2% 45.5人以上規模の企業は1人以上の障害者雇用義務
- ・大企業は「特例子会社」を設立し、子会社で障害者雇用を実施
- ・中小企業の多くは、法定雇用率を満たしていない (理由)
 - ・障害者に配慮した職場環境の整備や、雇用する障害者に十分 な仕事量の確保が困難等

現行の事業協同組合等算定特例

中小企業

発注

中小企業

発注

- ・設立に行政庁 の認可が必要
- ・特例の活用は、 全国で数件のみ

事業協同組合等 (事業協同組合、商店街振興組合など) 受注に応じて 障害者雇用を拡大

<u>障害者雇用を促進する場合は、</u> 全体で実雇用率の算定が可能に

LLPを活用した障害者雇用の促進 全国初活用!

障害者雇用数:27人

障害者雇用数:0人

2人採用

(一社)ローランズプラス

大槻経営労務管理事務所

障害者雇用に ノウハウあり

出資 植栽発注

出資 事務発注

共同で設立

設立手続き が簡便

ウィズダイバーシティ 有限責任事業組合(LLP

全体で実雇用率を算定

全体で29人の

障害者を雇用

出資者が増えることで さらに拡大が期待!